

平成28年度組織目標評価(温暖化対策課)

番号	目標項目	目標値等（目標の内容）	達成状況（成果と課題）	達成度	今後の対応（△・×の項目）	担当所属
1	低炭素社会づくり推進計画の改定	滋賀県低炭素社会づくり推進計画の平成28年度での改正	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年3月23日に「滋賀県低炭素社会づくり推進計画」（改定版）を策定した。 ＜改定までの取組内容（平成28年度）＞ <ul style="list-style-type: none"> 環境審議会での審議（4回） 県議会常任委員会への報告（4回） 事業者、県民等との意見交換（14回） 市町との意見交換（2回） 県民政策コメントの実施（14名から61件の意見等） 	○		温暖化対策課
2	低炭素社会づくり賞による優れた取組の顕彰	滋賀県低炭素社会づくり賞により低炭素社会の実現のための優れた取組を行った事業者等を表彰する。 <ul style="list-style-type: none"> 低炭素化事業部門 4者（H27実績 4者） 事業者行動計画書制度部門 5者（H27実績 3者） 	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年3月23日に低炭素社会づくり賞表彰式を実施した。 低炭素化事業部門の表彰 4者（応募事業者数 8者） 事業者行動計画書制度部門の表彰 4者（応募事業者数 5者） 	○		温暖化対策課
3	家庭部門における節電・省エネ行動の実践促進	<ul style="list-style-type: none"> 各家庭に応じた節電・省エネ対策を提案する「うちエコ診断」の新規診断件数 150件以上（H27実績 158件） 	<ul style="list-style-type: none"> 3月末の状況 「うちエコ診断」診断件数 150件 イベントでの節電・省エネ提案会の開催や県、市町の広報誌での呼びかけにより、目標件数である150件の診断を実施した。 （診断後の調査から、受診1家庭あたり年約1トン（約2割）のCO2削減効果があった。） 	○		温暖化対策課
4	低炭素社会づくり学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○平成28年度の低炭素社会づくり学習講座の受講者数 3,750人（H27実績 3,506人） ※低炭素社会づくり学習講座の受講者数 15,000人（H27年度からH30年度の累計） 	<ul style="list-style-type: none"> 3月末の実施状況 地域：46講座 1,363人受講 学校：87講座 2,554人受講 計 133講座 3,917人受講 	○		温暖化対策課

4	次世代自動車の普及促進	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度に新たに創設する県の補助制度を活用した次世代自動車（EV、PHV、FCV）の導入台数 50台 	<ul style="list-style-type: none"> 補助制度を活用した次世代自動車の導入台数 2台 補助制度について、関係団体を通じての周知や自動車管理計画書提出事業者、各事業所のグリーン購入担当者への周知、びわ湖環境ビジネスメッセ等での広報を行った。 しかし、新型車の発売延期等の市場環境の影響もあり、目標とする導入台数までには大きく至らなかった。 	×	<ul style="list-style-type: none"> 市場動向や、低炭素社会づくり推進計画において業務部門と家庭部門に重点化して対策を進めることとしたから、当該補助制度は廃止をする。今後は、低炭素社会づくり学習支援事業（出前講座）や事業所訪問調査や関西広域連合での事業などを活用して次世代自動車の普及啓発に取り組むこととする。 	温暖化対策課
---	-------------	--	---	---	--	--------

※「達成度」の欄は、年度末の目標の達成について、

◎ 目標を超えて達成（100%超）、○ 目標どおり達成（100%）、

△ 目標の半ば以上の実績（50%以上）、× 目標の半ば以下の実績（50%未満）

に分類・評価して記入してください。なお、評価するにあたり、カッコ書きの数値により難しい場合は、この数値を参考としながら、各目標の内容に応じた評価を行ってください。